

NACSIS-CAT Session 番外編

◦ 使いこなそう！

CiNiiとNDL OPAC(及びNDLサーチ)
二(三)大書誌データベースの有用性

NACSIS-CAT Session Special

Usability comparison of two (or three)
databases: CiNii and, NDL-OPAC (plus
NDLSearch)

パネリスト

上村順一 (Jun'ichi Uemura, NII)

大柴忠彦 (Tadahiko Oshiba, NDL)

CiNii / NDL OPACの比較 I

提供者	国立情報学研究所		国立国会図書館
データベース	CiNii Books (NACSIS-CAT)	CiNii Articles	NDL-OPAC
定義	NACSIS-CATのデータを利用した検索サービス 各図書館が作成する共同目録 現物（資料）は各図書館が所蔵	NII-ELSのデータを中心とした国内雑誌論文の検索サービス	NDLが作成する蔵書目録 全国書誌、点字図書・録音図書全国総合目録も提供 現物（資料）を所蔵
収容範囲	書籍（紙・電子媒体の本・雑誌） 視聴覚資料	雑誌記事 【参考】博士論文(CiNii Dissertations)	書籍（紙・電子媒体の本・雑誌） 視聴覚資料 雑誌記事
分類	分類システムと入力作成は作成館の自由 入力は任意	--	NDLC（独自）、NDC 入力については「 整理区分ごとの書誌データ水準 」参照
Subject Heading	参加館が付与（どの件名表を基準にするかは作成館の裁量による） 必須ではない	--	NDLSH（独自） 入力については「 整理区分ごとの書誌データ水準 」参照
著者名典拠	独自の著者名典拠 参照ファイルはNDLとLCの典拠	--	独自の著者名典拠 Web NDL Authorities（NDLで作成し維持管理するすべての典拠データを一元的に検索・提供するサービス）

CiNii / NDL OPACの比較 2

提供者	国立情報学研究所		国立国会図書館
データベース	CiNii Books (NACSIS-CAT)	CiNii Articles	NDL-OPAC
書誌データ作成者	参加館	各連携サービス提供元	国立国会図書館
書誌データの量	書誌数: 1,104万件 所蔵数: 1億3,098万件	約1,800万件	書誌データ : 1,160万件 和図書: 約448万件、和雑誌: 約16万タイトル 和新聞: 約2万8千タイトル、洋図書: 約174万件 洋雑誌: 約6万タイトルなど (平成26年度末) 雑索記事索引データ: 1,170万件
書誌の品質管理	図書: 作成館が修正責任を負う 雑誌: 参加館からの報告を受け、NII品質管理室で一括コントロール クオリティに差はないが、任意項目の豊富さは差が出る	問題があれば都度連携サービス元に修正依頼を行っている	資料の特徴や提供の目的などによりNDLで作成・提供する書誌データの水準を定めている 「整理区分ごとの書誌データ水準」 参照
書誌データの利用方法 (ダウンロード)	個別版として参加館の書誌・所蔵情報を一括提供している	--	MARC形式 (JAPAN/MARC MARC21フォーマット)、MARCタグ形式、記号区切り形式等でダウンロードが可能

CiNii / NDL OPACの比較 3

提供者	国立情報学研究所		国立国会図書館
データベース	CiNii Books (NACSIS-CAT)	CiNii Articles	NDL-OPAC
メタデータを別のデータベースなどに提供しているか	外部提供インタフェース (API) あり CC BY 4.0でデータセットを公開中	外部提供インタフェース (API) あり 雑誌記事のメタデータの提供 (PrimoCentralなど)	WorldCatへの書誌データ (雑誌記事索引を含む) の提供 VIAFへの参加 雑誌記事のメタデータの提供 (CiNii Articles、PrimoCentralなど) 外部提供インタフェース (API) は、NDLサーチにあり
図書館間貸出 (ILL)	希望すればILLに参加可能 (事前に利用申込が必要) Online ILL機能が付いているが、現実的に海外からのILL依頼は困難	--	NDLのサイトからILL申込可 (ILL参加承認手続きが必要) 但し、館外貸出禁止、コピー禁止など制約有 雑誌記事については、複写申込みとのリンクあり
文献複写物の入手	ERDB-JP、NII-ELS、J-STAGEの情報を元に電子版へのリンクがあればボタンあり	本文へのリンク情報があればリンクボタンあり	事前に利用登録をすれば NDLのサイトから複写申込可 デジタル化された資料の内、著作権がクリアされているものについては、デジタル画像とのリンクあり
その他のサービス		<u>電子図書館 (NII-ELS)</u> 終了に伴いCiNii機関定額制も終了 (但し、サービスは2017年3月終了) →J-STAGEを中心にコンテンツは移行	NDLサーチなどによる <u>情報ポータル</u> の提供 またNDLサーチでは他の機関が作成するデータベースも横断検索できる 所蔵資料の一部デジタル化とその公開 (近代デジタルライブラリー、歴史的音源データベース: 但し事前に利用申込が必要)

テーマ1 件名付与



CiNii

件名の入力はNACSISカタログ
ガ-の自由裁量による
→件名検索が不十分になるの
では？



 NDL-OPAC

件名は必ず付与
→NDLSHとBSH, LCSHの関
係は？

テーマ2 新しい目録規則の採用は？

洋書	和書
Resource Description and Access 2014年半ば ドイツの著者名典拠レコード(GND)に採用 2015年10月 タイトルレコードに採用 2016年 ドイツ語圏スイスとオーストリアで採用	2017年度新規規則の公開 (JLA及びNDL) 書誌データ作成機関の実務者を対象とした実務研修 (JLA及びNDL) 新規規則の策定のみならず、その普及と維持管理についてもNDLとJLA（日本図書館協会）が連携して行う。

テーマ3 デジタル化された和古書



CiNii

デジタル化されていれば各
図書館のデータベースへ



NDL-OPAC

デジタル化されていれば
NDLのデータベースで見ら
れる場合もある
→館内限定資料の制限有

テーマ4 デジタル化された雑誌記事



CiNii

NII-ELS（電子図書館）終了

→移行先は3つ

1. J-STAGE
2. JAIRO Cloud
3. 上記以外（自組織、他）



NDL-OPAC

デジタル化されていればNDL
のデータベースで見られる場
合もある

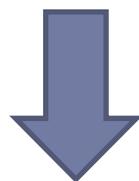
→館内限定資料の制限有

テーマ5 デジタル化されていない 雑誌記事の入手

事例 その1

座談会記事「世界史的立場と日本」

In: 中央公論 昭和17年1月



NDL、CiNii共に雑誌記事のメタデータがなく、ページ数がわからない

NDLにページ数を記載せず複写依頼

テーマ5 デジタル化されていない 雑誌記事の入手

事例 その2

嶋野智仁「金融化が日本経済の資本蓄積
に与える影響に関する実証分析」

In: 季刊経済理論 第51巻4号



知り合いに頼んで送ってもらった

テーマ5 デジタル化されていない 雑誌記事の入手



CiNii

日本国内ではNACISIS-ILL
→欧州の図書館では事実上、
参加困難



NDL-OPAC

事前に利用登録していれば検
索画面から発注可能
支払方法：銀行振込または
クレジットカード

最後に

CiNii Dissertationに関して質問

CiNii Dissertations

JAIRO
Japanese Institutional Repositories Online

使い分けは？

個々の博士論文のデジタル化は？

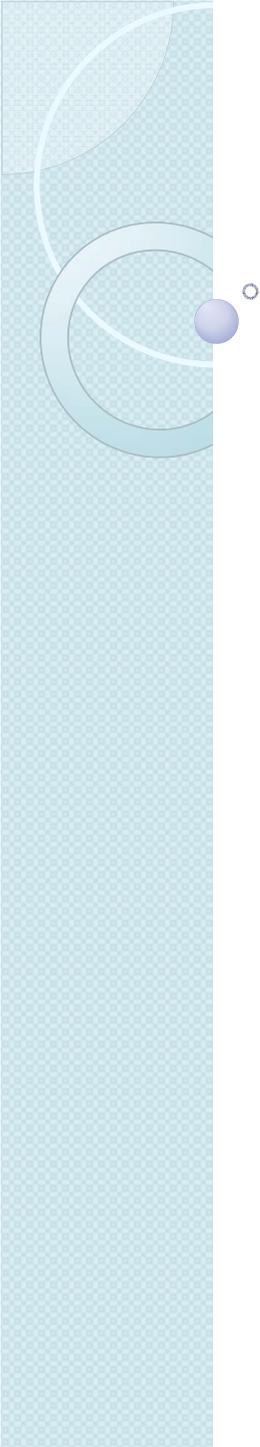
将来の展望

CiNii Articles

CiNii Books

CiNii Dissertations





御静聴、ありがとうございました。

Thank you for your attention!

Vielen Dank für Ihre Aufmerksamkeit!

NACISIS-CAT User Group

Ryuko Hasunuma, JKI

Akira Hirano, SISJAC

Nobutake Kamiya, Zürich

Izumi Tytler, Oxford